

サービスのご提案 ~ Gemba Smile 株式会社

仕事が視える

マネジメントから現場まで
すべての活動と進捗が
ひと目でわかる。



活動がつながる

一人ひとりの活動がムダなく
つながり、組織の目的と目標
に貢献する。

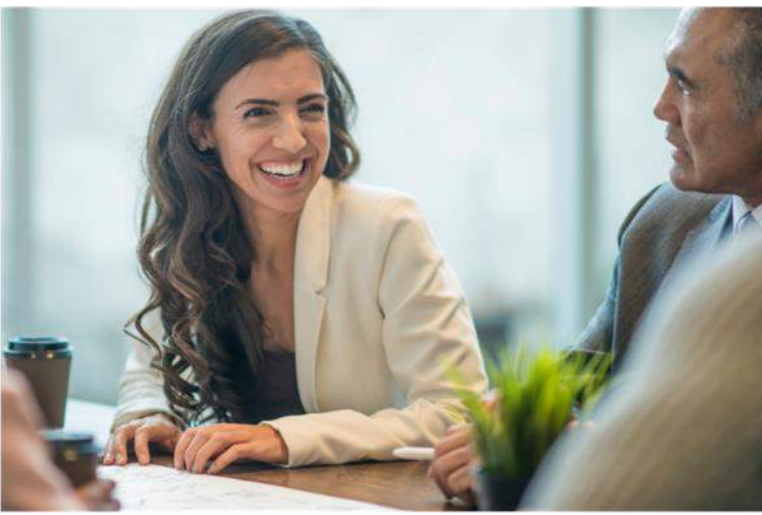
組織が自走する

一人ひとりが自ら考え行動し、
変化にすばやく対応する組織
へと進化する。



Gemba Smile のメソッドで、スマートな職場作り

仕事のムダをなくし、一人ひとりの活動をしっかりと結果につなげます。



Office

すべての活動が
見える

組織活動がトップから
現場まで、ボード上で
すべて可視化されます。



仕事のムダが
一目でわかる

どこで仕事のムダが発
生しているか、簡単に
発見できます。



すべての活動が
顧客につながる

皆でムダを解消し、一
人ひとりの仕事をムダ
なく結果につなげます。



ムダのないスマートな仕事場に。



Telework

リモートでも
フォローできる

一人ひとりの業務が視
える化され、サポート
が得やすくなります。



報連相に頼らない
意思疎通

仕事の全体像と進捗が
一目でわかるので、
意思疎通がスムーズに。



どこにいても
自由に働ける

机にしばられる状態か
ら解放され、場所を選
ばず働けます。



よりスムーズで自由な働き方を。



Operation

自らの立ち位置
と貢献が視える

会社の方向性と、自ら
の仕事の関係がハッキ
リとわかります。



何をすべきかが
いつもわかる

目標を達成するために
何をすべきかがわかる
ので自律的に動けます。



貢献できている
自分が視える

会社と社会に貢献して
いるプライドが今日も
スマイルを作ります。



一人ひとりがより大切な現場を。

新たな働き方に必要な

4 Gemba Smile をうまく活用 つのポイント

1 生産性



コツ!
つなげる



見える

見える化
ボード

すべての活動を
事務所から現場
まで見える化

つながる

KPI管理

それぞれの活動
のKPIと目標を
決めてつなげる

向上する

ムダ取り

仕事のムダを見
つけて解消し、
付加価値を向上

2 DXへの 対応



コツ!
標準化



見える

標準化

属人化した仕事
を客観的なデー
タに変換する

つながる

数値化

仕事の数値化で
ヒトとデジタル
技術がつながる

進化する

DX化

DXの活用で、
従来できなかった
仕事が可能に

3 自律的 人財



コツ!
全体像



見える

見える化
ボード

全体像が可視化
され、自分の立
ち位置がわかる

つながる

KPI管理

KPIを通して、
自身と組織の活
動がつながる

自走する

問題解決

自信の判断で問
題解決にあたれ
るようになる

4 環境に 優しい



コツ!
ムダ取り



見える

仕事の5S

モノでなくコト
の5Sで、仕事
のムダを可視化

つながる

ムダ取り

仕事のムダを減
らし、省資源で
環境に貢献

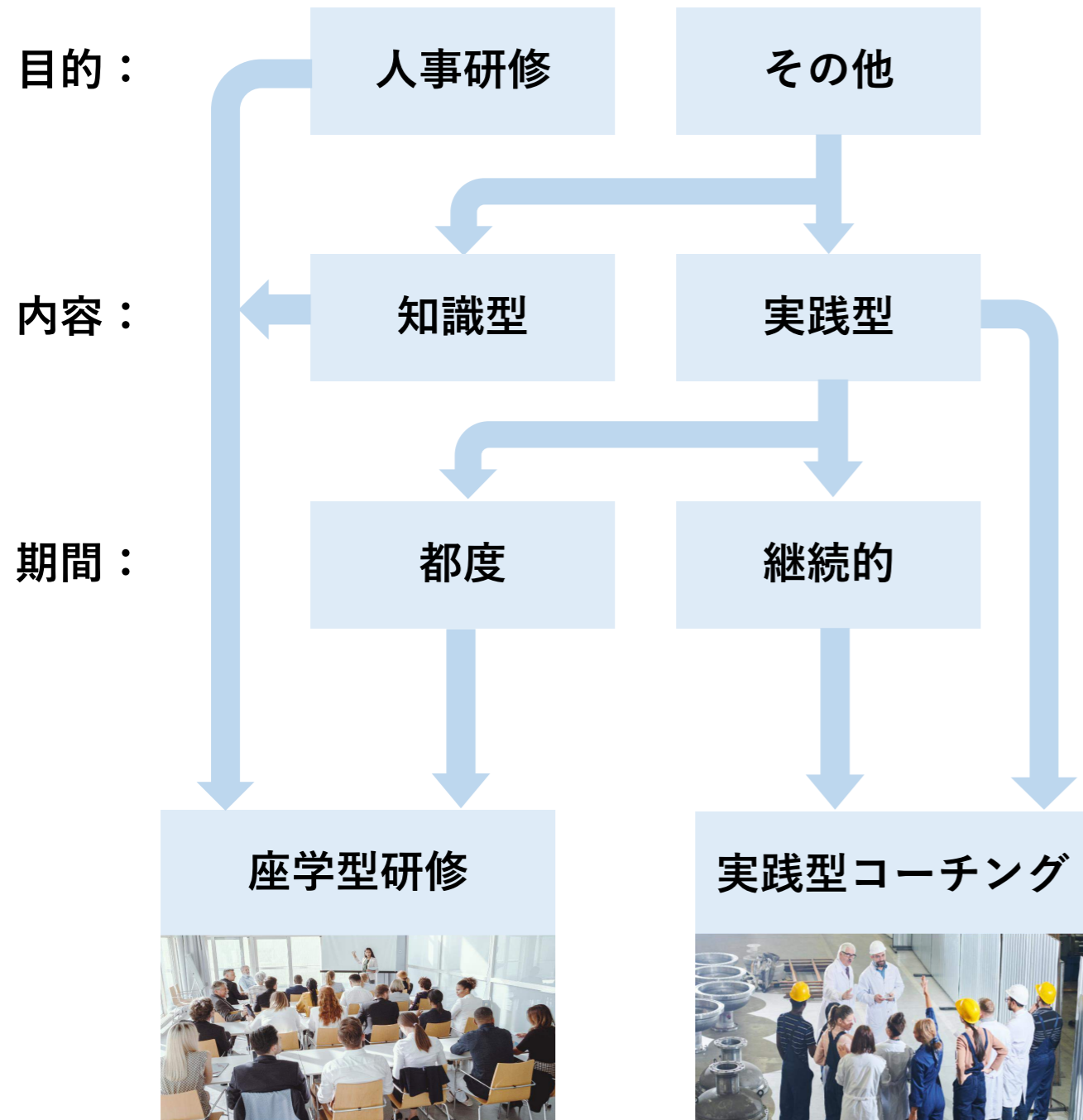
持続する

標準化

常に最少資源で
目的を達成する
しくみが持続

ニーズ診断チャート

御社には座学とコーチングどちらが合っていますか？



詳しくは次のページをご参照ください

座学？それとも実践重視？

短期 中長期

御社は
どっち派!?

座学型研修 実践型コーチング

目的は？

人事研修

生産性改善

リスキリング

対象は？

マネジメント

新入社員

事業部

現場

支店

期間は？

1日

3ヵ月

年間

各月

各週

豊富なプログラムで皆さまの様々なご要望にお応えします

座学型研修

- ・ 目的別の研修
- ・ リモート研修も可能
- ・ 研修後はテキストを配布
- ・ 参加者に修了証を発行



人事研修に最適



1グループ
40名まで対応



短期集中型



受講



ゲーム形式テスト



修了証

3つのカテゴリーからテーマを選択

実践理論

- ▶ 5S
- ▶ 7つのムダ
- ▶ ムラ・ムリ・ムダ
- ▶ ジャストインタイム
- ▶ 自動化

実践モデル

- ▶ PDCAサイクル
- ▶ SDCAサイクル

実践ツール

- ▶ PDCAを回し切る5つのツール
- ▶ SDCAを回し切る5つのツール

実践型コーチング

実践研修に最適



1グループ
20名まで対応



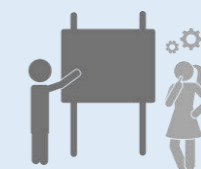
- ・ 従来のやり方を尊重
- ・ 必要な箇所から開始
- ・ 研修後は現場コーチング
- ・ ポイントで進捗を可視化



中長期実践型



座学



導入



実践

三段階で現状に合わせて実践につなげる

座学

3ヵ月

- ▶ 実践理論
- ▶ 実践モデル
- ▶ 実践ツール

導入

3ヵ月

- ▶ 問題の大きな箇所から開始
- ▶ 状況に合わせて進め方を調整

実践

6ヵ月

- ▶ ポイントで進捗を可視化
- ▶ 実践の効果を確認



“お好きな項目をピックアップ” **テーマ別**

“研修目的に合わせてテーマを組合せ” **目的別**

A 実践理論

実践的な学び直しにおすすめ



各テーマ 2~3時間
最大40人/回

- A-1 5S
- A-2 7つのムダ
- A-3 ムラ・ムリ・ムダ
- A-4 ジャストインタイム
- A-5 自動化



管理職研修

自走する組織を導く手法を学ぶ



半日 x 8回 or 全日 x 4回
最大20人/回

- A-1 5S
- A-2 7つのムダ
- A-4 ジャストインタイム
- B-3 PDCAとSDCA
- C-1 事業ストーリー
- C-2 方針管理シート
- C-3 戦略管理シート
- C-4 KPI管理グラフ
- C-5 見える化ボード

B 実践モデル

PDCAを回し切る秘訣を学ぶ



各テーマ 2~3時間
最大40人/回

- B-1 PDCA
- B-2 SDCA
- B-3 PDCAとSDCA



現場力向上

失敗から学ぶ現場を作る



半日 x 8回 or 全日 x 4回
最大20人/回

- A-1 5S
- A-2 7つのムダ
- A-4 ジャストインタイム
- B-2 SDCA
- C-6 プロセスマップ
- C-7 標準化シート
- C-8 問題解決シート

C 実践ツール

気になるツールから始めてみる



各テーマ 2~3時間
最大40人/回

- C-1 事業ストーリー
- C-2 方針管理シート
- C-3 戦略管理シート
- C-4 KPI管理グラフ
- C-5 見える化ボード
- C-6 プロセスマップ
- C-7 標準化シート
- C-8 問題解決シート
- C-9 工程観察シート
- C-10 現場の声シート

組織の強化

マネジメントと現場をつなぐ



半日 x 6回 or 全日 x 3回
最大20人/回

- A-1 5S
- A-2 7つのムダ
- B-3 PDCAとSDCA
- C-1 事業ストーリー
- C-4 KPI管理グラフ
- C-5 見える化ボード

年間カリキュラム A~Dまで好きな期間を選んでいただけます

コース	座学			導入	実践	独自手法
	TPS	メソッド	ツール			
A. 研修のみ	1~3カ月					
B. 導入支援	6カ月					
C. 実践支援	12カ月					
D. フル支援	24カ月					

個別プログラム ご要望に合わせてプログラムと日程を作成いたします



ステップ	項目	目的	目標	時間	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13-24		
座学	キックオフ	変化をリードする	1項目	1.0	12.0	12.0	12.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	調整	
	理論	TPS基礎	51項目	5.0	2.0	3.0													実践で深化	
		TPS中級	2項目	2.0																
ツール	理論実践	10項目	10.0	5.0	3.0	2.0														
導入と実践	システム	2サイクルをリンク (全活動の見える化)	①	3.0	1.0										0.5	0.5	0.5	独自メソッド へつ発展		
			②	6.0											1.0	1.0	1.0			
			③	7.0											5	0.5	0.5			
	④	8.0	1.0	1.0	1.0									1.0	1.0					
仕組み (2サイクル)	PDCA (目標の達成)	⑤	10.0		1.0	1.0												実践で醸成		
		⑥	10.0		3.0	2.0	2.0	2.0												
コミュニケーション	SDCA (問題解決)	変化をリードする	⑦	25.0			2.0	1.0	2.0						3.0	3.0	3.0			
			3項目	3.0	1.0	1.0	1.0													
進捗管理	① 事業ビジョン ② KPI (PDCA) ③ KPI (SDCA) ④ 方針管理 ⑤ 変化点管理 ⑥ 標準化 ⑦ 問題解決	①	1	1	1	2	2	2	3	3					3	3	3	4	見える進捗管理	
		②	1	1	1													3		4
		③	1	1	1													3		4
		④	1	1	1													3		4
		⑤	1	1	1													3		4
		⑥	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		4
		⑦	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3		4

研修体制 お客様に社内トレーナーを任命し中断ないフォローを行います



認証サービス ご要望に応じて習得レベル別に修了証を発行します



- セミナー 3時間~
- テスト ゲーム式 10分
- 修了書 即発行

契約までの進め方 現場診断の結果にもとづきプログラムを作成

- ① 現場診断 ご訪問またはWeb形式で現場視察
- ② ご提案 御社に合った最適プログラムを作成
- ③ お見積り 実行計画案と合わせてご提示
- ④ 実施 座学・導入・実践

実践理論 ～ 5つの基本を演習を通して学びます



仕事のムダを解消する5つの知恵
～ トヨタ生産方式からの学び～

実践理論

5S / ムダを解消するエンジン

A-1

3時間～



モノ = 片付け

コト = 生産性

研修の特長

“モノ”から“コト” (=仕事) の5Sまで幅広く学ぶ

メリット

モノの片付けではなく、仕事のムダ解消が進む

7つのムダ / ムダが見えるレンズ

A-2

3時間～



隠れている仕事のムダを発掘

研修の特長

仕事のムダを見つける方法を、しくみを理解して学ぶ

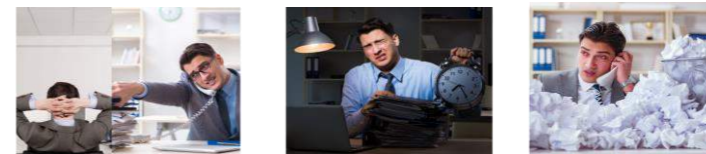
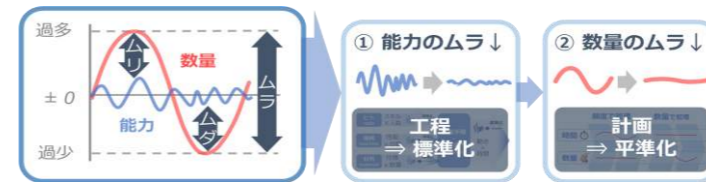
メリット

従来意識していなかったムダが見えるようになる

ムラ・ムリ・ムダ / ムダの発生源

A-3

2時間～



ムラ

ムリ

ムダ

研修の特長

7つのムダが発生するしくみと解消方法を学ぶ

メリット

仕事のムダを解消する手順がわかるようになる

ジャストインタイム / 計画のムダを解消

A-4

3時間～



つねに後の仕事に合わせて計画

研修の特長

ムダのない仕事作りに欠かせない王道を学ぶ

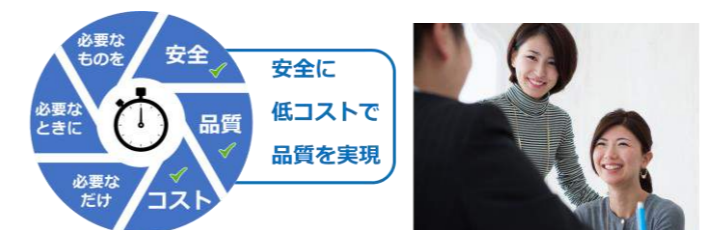
メリット

すべての仕事の進め方が顧客始点になる

自動化 / プロセスのムダを解消

A-5

3時間～



異常発生

すぐにわかる

助かる

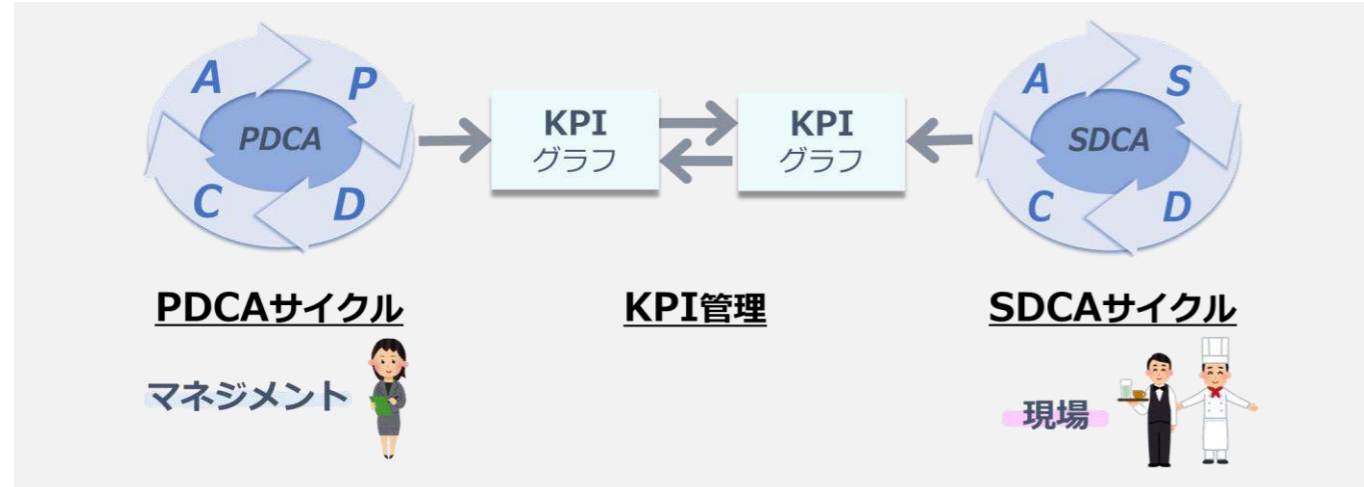
研修の特長

動きと働きの違いを理解、改善が進むしくみを学ぶ

メリット

隠れていた日常業務の異常がわかるようになる

実践モデル ～ 2つのサイクルで理論を実践へと導きます

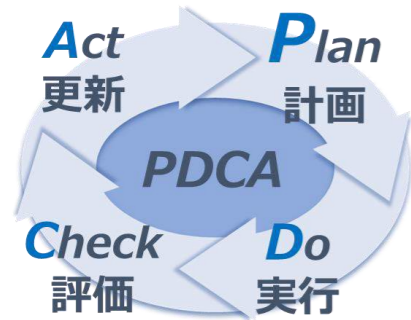


仕事をムダなく結果につなげる
～2つのマネジメント・サイクル～ **実践モデル**

PDCA / 中長期目標を達成するサイクル

B-1

2時間～



マネジメントに最適

研修の特長

PDCAが回らない理由と
その対策を学ぶ

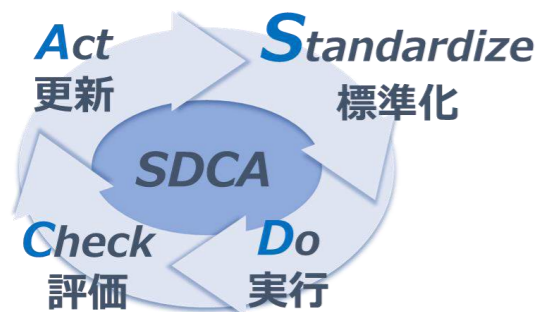
メリット

PDCAを回すための実践的
な手法を習得できる

SDCA / 日常業務を改善するサイクル

B-2

3時間～



オペレーションに最適

研修の特長

PDCAを回すために欠かせない
もう一つのサイクルを学ぶ

メリット

SDCAについての詳細な知識
と実践方法を取得できる

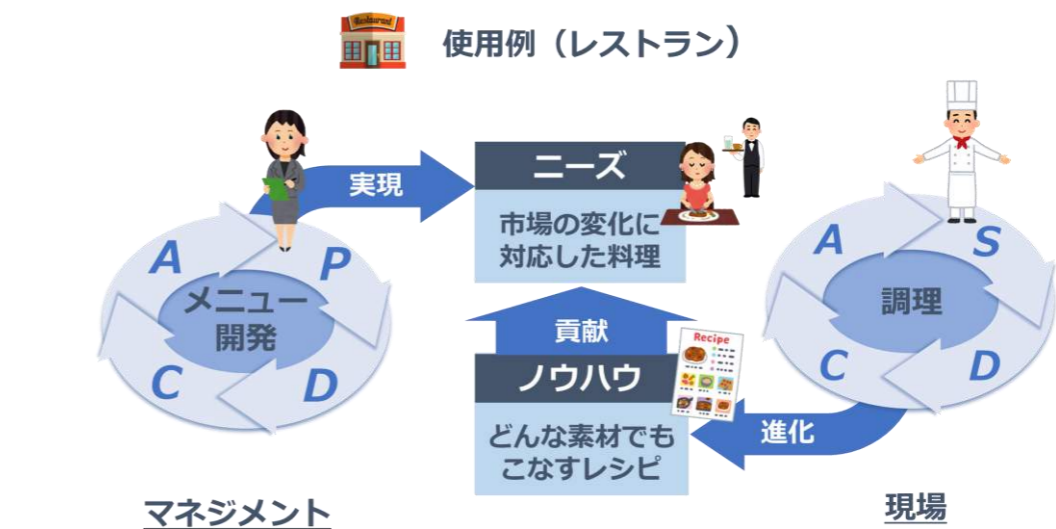
PDCAとSDCA / 強みを事業に活かし切る

B-3

3時間～



例えば



研修の特長

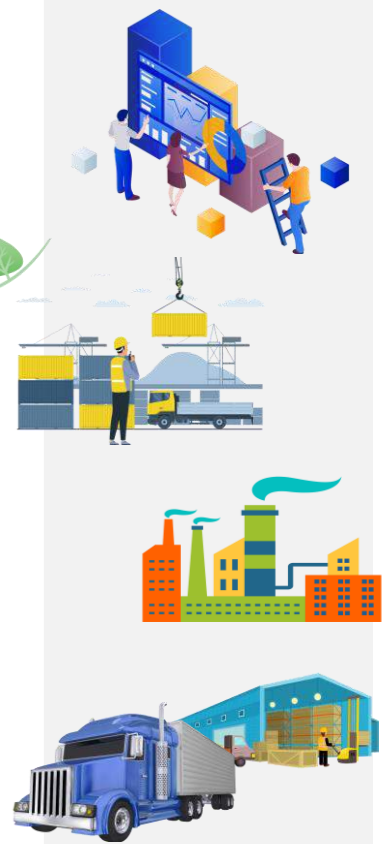
様々な事例を
通して、2つ
のサイクルの
回し方を学ぶ

メリット

独自の強みを
事業に活かす
ことで生産性
だけでなく事
業収益も向上

PDCA ⇔ SDCA

誰が:	マネジメント ⇔ 現場 (オペレーション)
何を:	事業 (戦略) ⇔ ノウハウ (戦術)
何のために:	顧客ニーズ ⇔ 独自の強み
どのように:	計画 (非リピート型) ⇔ プロセス (リピート型)
いつ:	中長期的 ⇔ 短期
どこで:	市場 ⇔ 社内
どうする:	イノベーション ⇔ カイゼン





活動計画をムダなく実行
～PDCAサイクルを回し切る～

実践ツール

事業ストーリー / スタッフのやる気の源泉

C-1

3時間～



研修の特長

事業の存在意義を明確に発信する手法を学ぶ

メリット

ヒトを巻き込み動機づけることができる

方針管理シート / 計画がひと目でわかる

C-2

3時間～



研修の特長

活動計画の効果的な作り方を学ぶ

メリット

計画の5Sを通して活動のムダを排除

戦略管理シート / PDCAをまわし切る武器

C-3

4時間～



研修の特長

演習を通して確実に武器を実装する

メリット

目標達成に何をすべきかが明確になる

KPI管理グラフ / 活動のつながりが見える

C-4

3時間～



研修の特長

KPIの作成と効果的な使い方を学ぶ

メリット

目標達成に何がどう貢献しているかがひと目でわかる

見える化ボード / 活動全体がハッキリ見える

C-5

3時間～



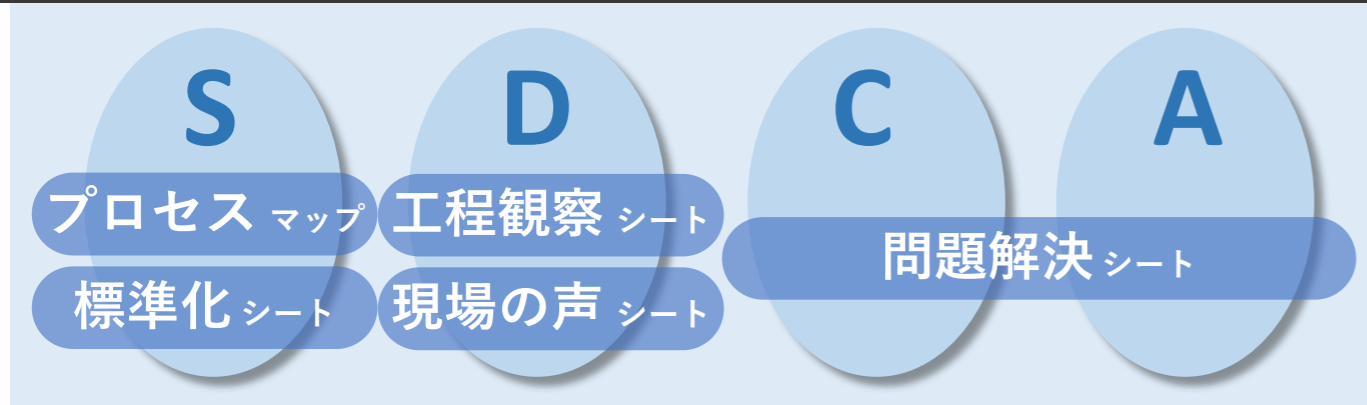
研修の特長

トヨタ式最新の管理手法の応用を学ぶ

メリット

活動全体の問題箇所がひと目でわかる

実践ツール ～ SDCAを回し切る



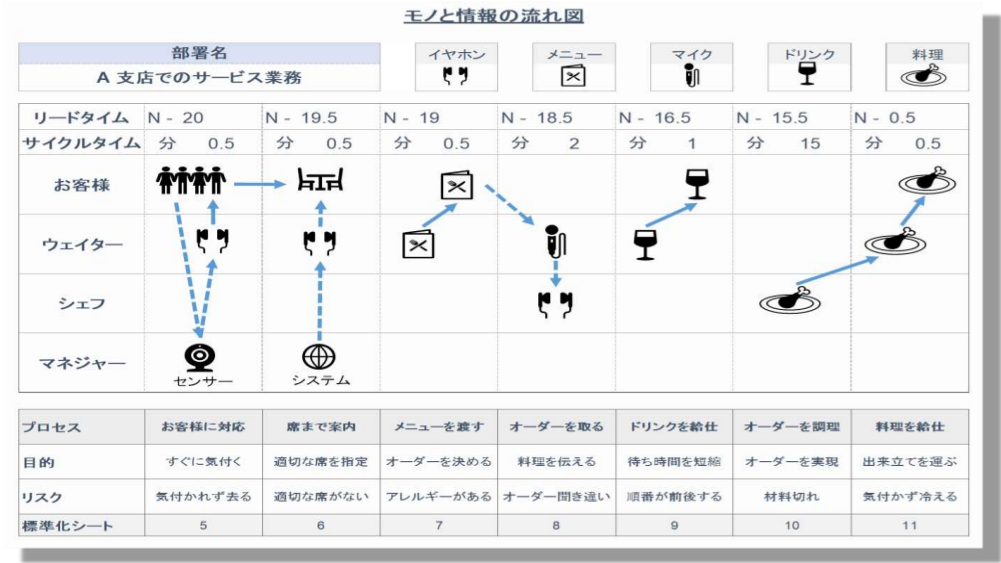
日常業務をムダなく実行
～SDCAサイクルを回し切る～

実践ツール

プロセスマップ / 仕事の全体像が見える

C-6

2時間～



標準化シート / 仕事のバラつきがなくなる

C-7

2時間～

ヒト	ツール	材料	組織名	所要時間	職制	名前	署名	日付
スキル	能力	規格		合計				//
X	X	X	番号	工程				//
人数	数	数量						//
a.	a.	a.	目的	手順ごと				
b.	b.	b.		(サイクル)	リスク			参照
c.	c.	c.	番号	手順	個別目的	安全	品質	記述
				時間				リンク / 写真
Man	Machine	Material	Method		リスク			
ヒト	道具	材料	手順					
スキル	人数	能力	数	規格	数量	動作	時間	

研修の特長

作業を最も効率的につなぐ方法を学ぶ

メリット

最も問題のある工程がひと目でわかる

研修の特長

仕事を形成する要素を演習を通じて学ぶ

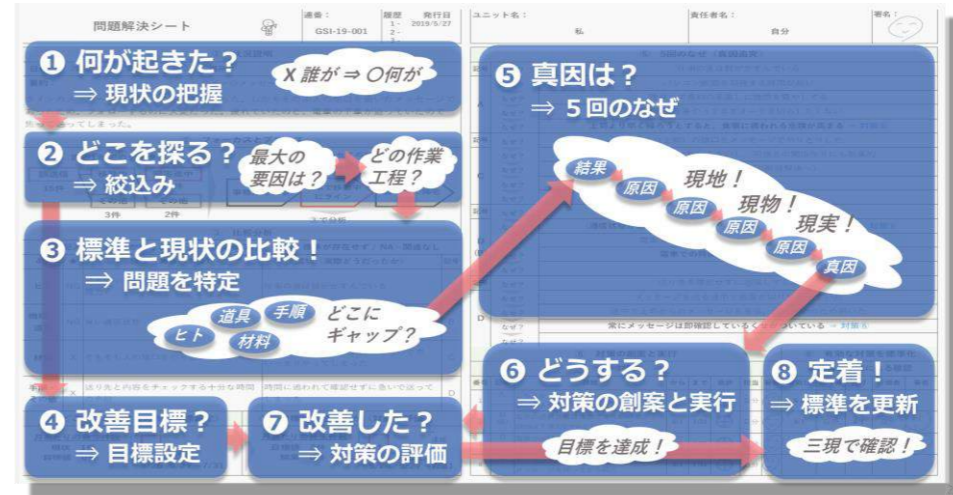
メリット

属人化した仕事が誰にでもやりやすい方法に変わる

問題解決 / ミスを繰り返さないコツを満載

C-8

3時間～



研修の特長

トヨタの現場からの学びをくまなく実現

メリット

失敗から学び続けるヒトと組織に変わる

現場観察シート / 問題を未然に防止できる

C-9

3時間～



研修の特長

問題が生じる前にリスクを掴み取る方法を学ぶ

メリット

異常に対する目線がチーム内で適合する

現場の声シート / 異常が隠れなくなる

C-10

3時間～



研修の特長

現場が積極的に異常を知らせるしくみを学ぶ

メリット

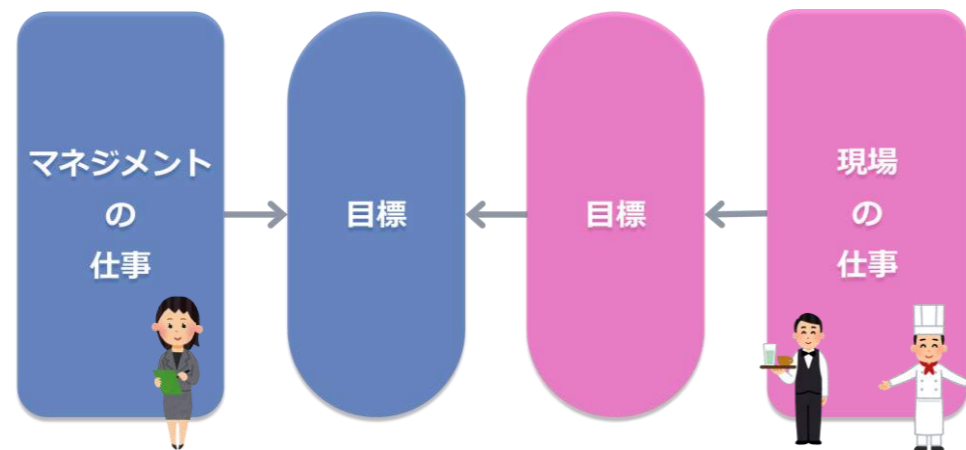
現場からの信頼が増し問題が隠れなくなる

ステップ

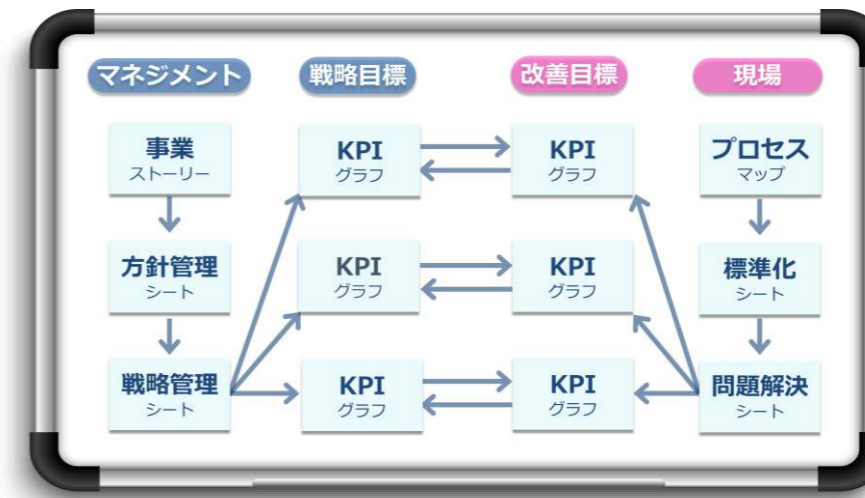
1



仕事をマネジメントと現場に分けます



選んだ実践ツールをボードに貼り付けます



ステップ

4

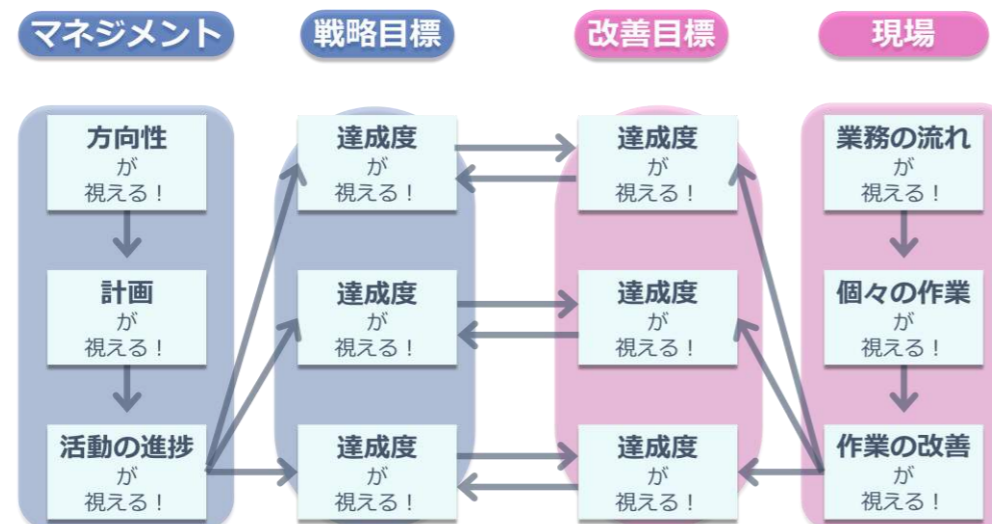


ステップ

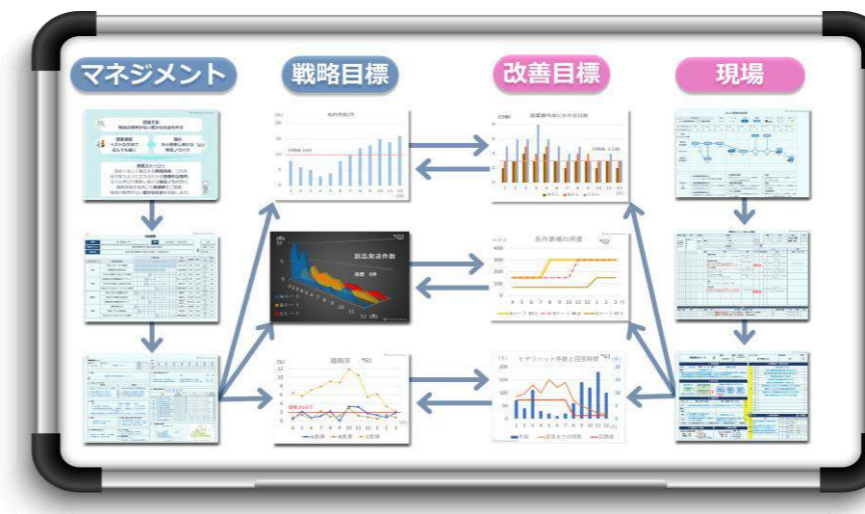
2



何を可視化したいかを書き出します

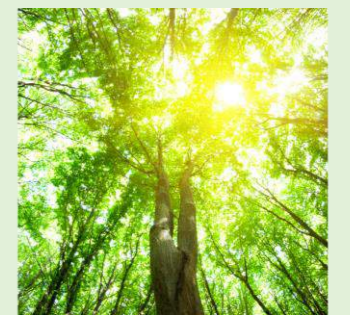


日常のコミュニケーションに活用します



ステップ

5

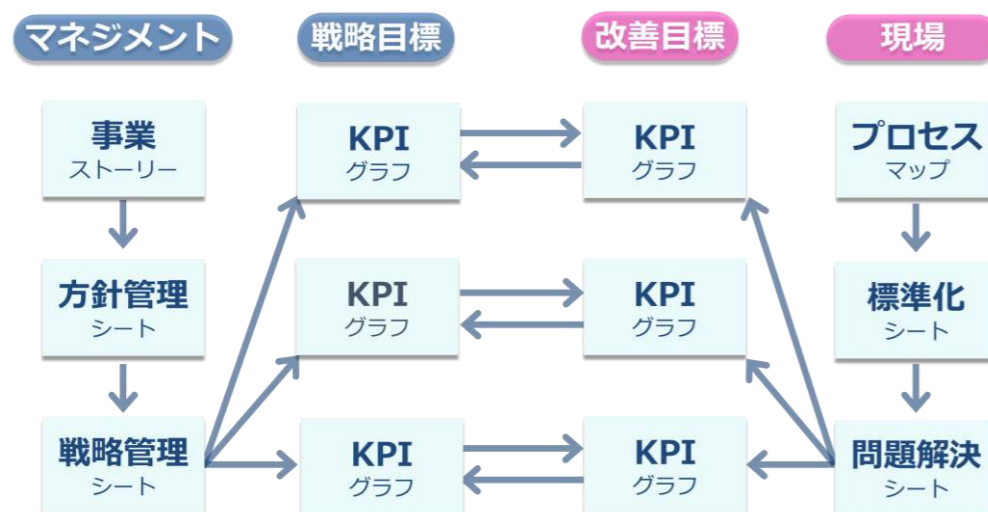


ステップ

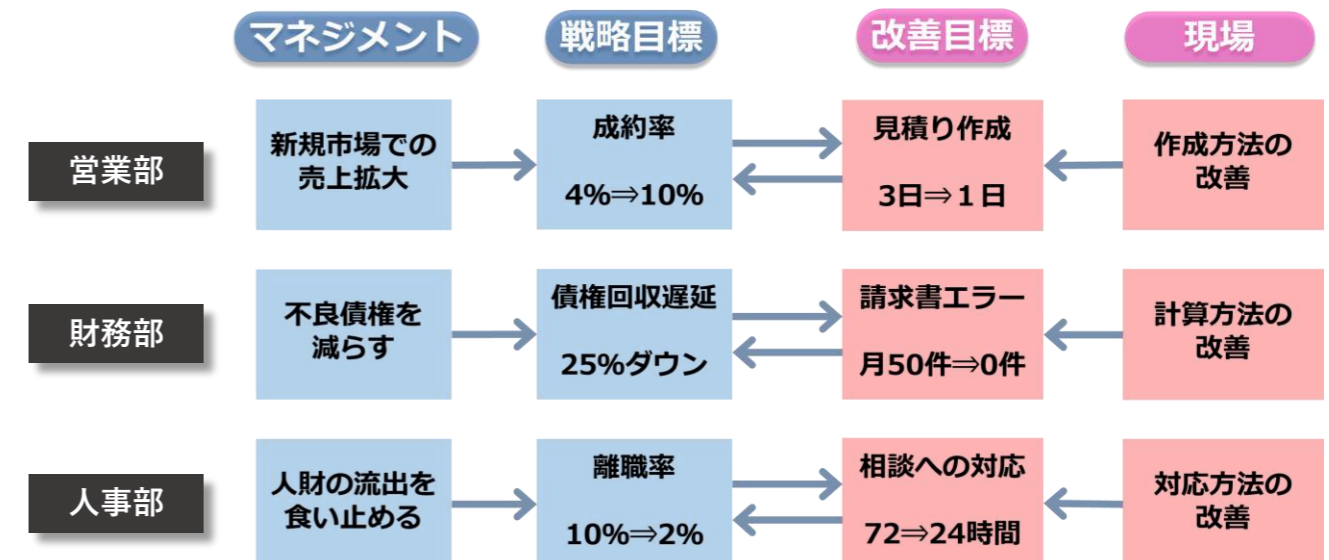
3

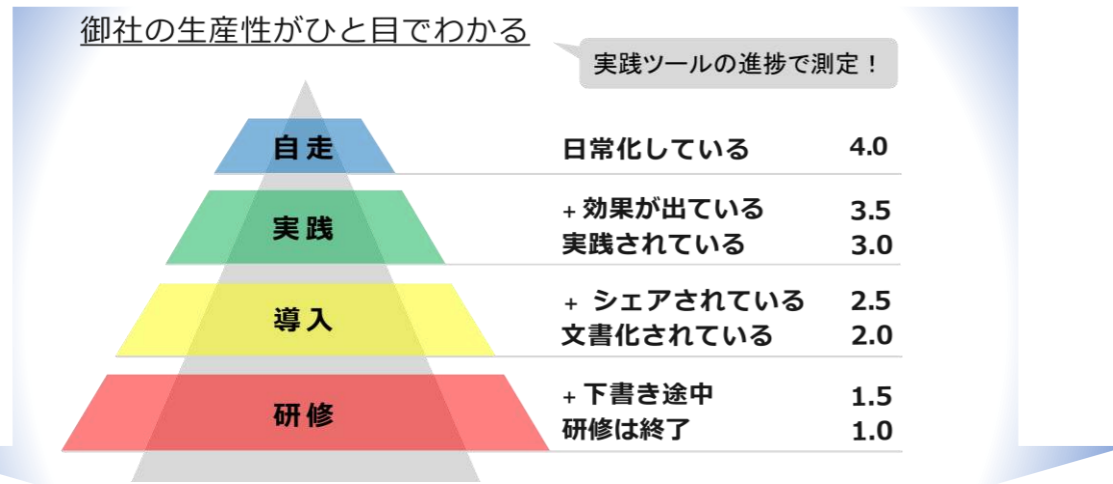
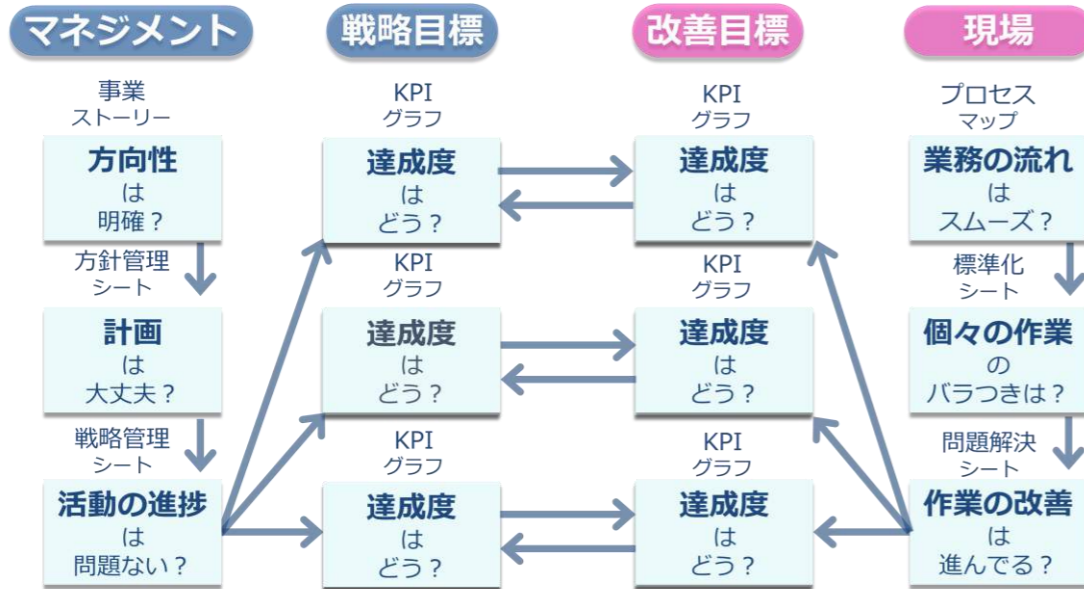


見える化するための実践ツールを選びます

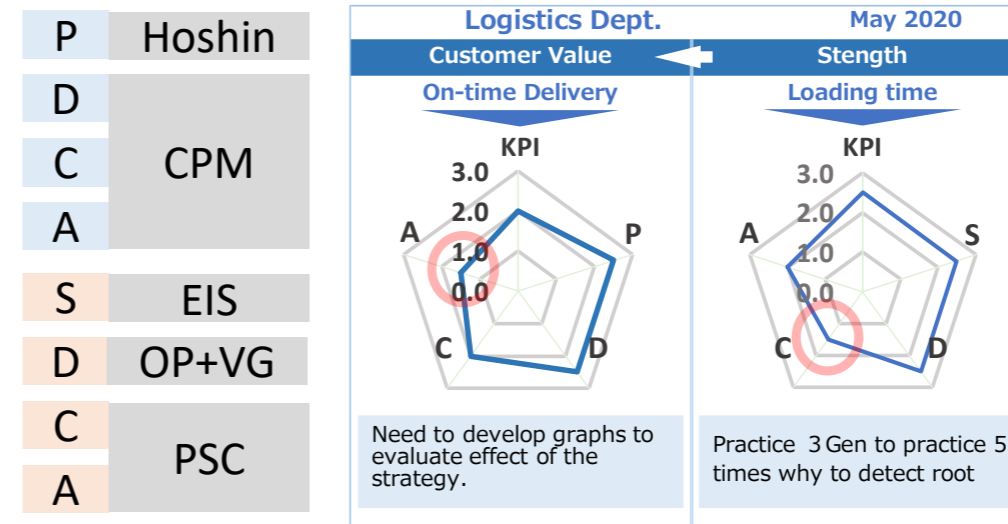


実践例 (情報のながれ)



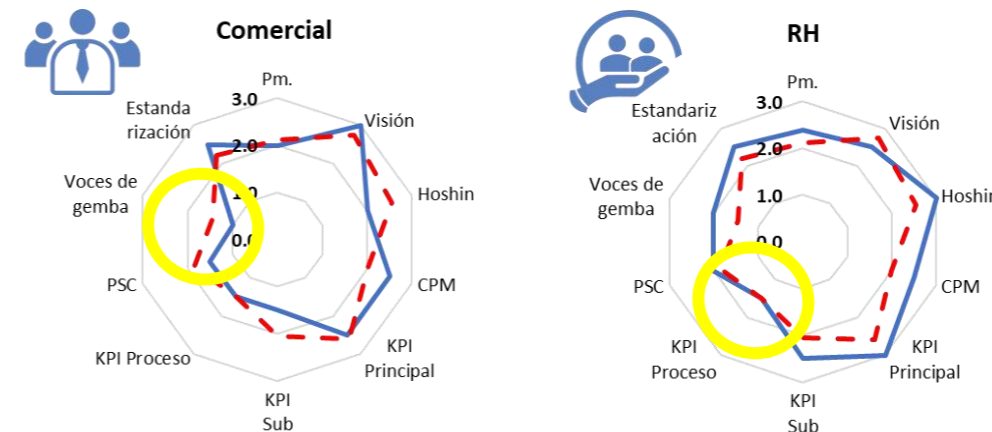


レーダーチャート（2サイクルで表示）

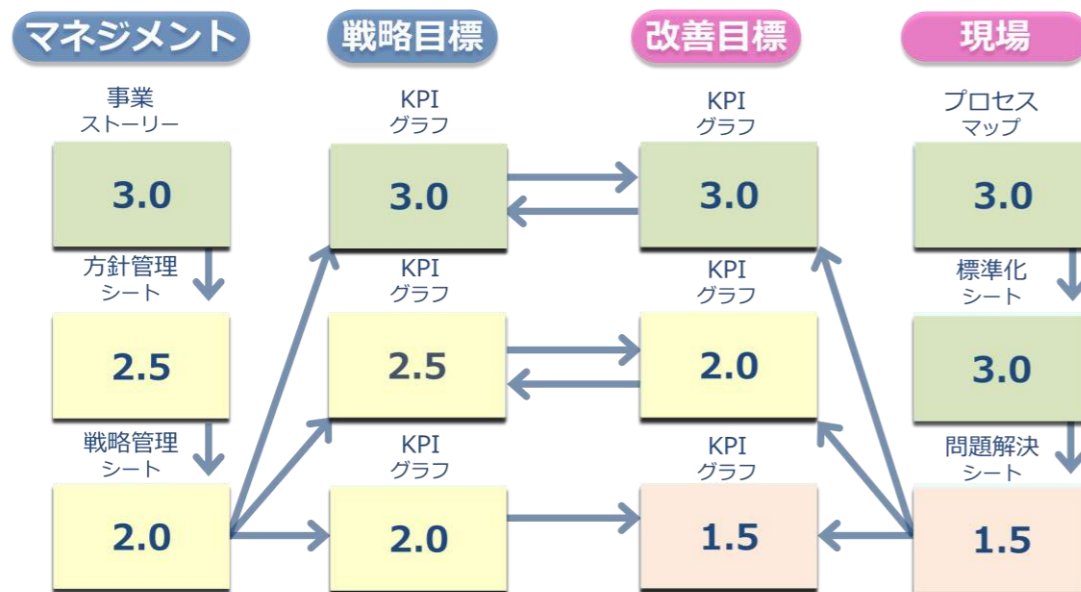


とある会社の物流部の事例です。マネジメントはPDCAの最後の目的達成のフォローが弱く、現場は真因追究に課題がありました。実践ツールを通して次のアクションにつなげます。

レーダーチャート（実践ツールで表示）



とある会社の営業部と人事部の実例です。実践ツールの実行レベルで測定しているため、改善すべきポイントがわかり易くなっています。



各ツールのポイント評価

(例) 標準化シート

4M		
1	DEFINIR QUIÉN EJECUTA	2.5
Hombre	⇒ Especificar el número de personas y habilidad.	
2	DEFINIR CON QUÉ SE EJECUTA	2.0
Máquina	⇒ Especificar el número de unidades y su capacidad.	
3	DEFINIR QUÉ SE PROCESA	2.0
Material	⇒ Especificar la cantidad y su especificación.	
4	AGREGAR VALOR	1.5
Método	⇒ Definir cómo Hombre procesa Material con Herramienta para realizar el valor de cliente con menos riesgos y el mínimo tiempo	
ENFOQUE		
6	DEFINIR OBJETIVO	2.0
Objetivo	⇒ Aclarar para qué existe cada procedimiento.	
5	IDENTIFICAR RIESGOS	3.0
Riesgo	⇒ Aclarar riesgos de seguridad, calidad (y productividad).	
DURACIÓN		
7	DEFINIR TIEMPO DE CICLO	1.5
Tiempo	⇒ Especificar el tiempo que se necesita para cumplir cada procedimiento.	
Total		2.2

各ツールの実践レベルを進捗ポイントで評価、改善点のアドバイスなどもコメントしております。

黄色が消えて、すべて緑色（実践OK）になるまで各現場でのコーチングが続きます。

弊社の業務内容とミッション



Gemba Smile グループ

リーン マネジメント コンサルティング

- ・ 各種セミナー
- ・ 研修及びコーチング

弊社のミッション

皆さまの現場の一人ひとりに**“生産的な笑顔”**を実現し、お客様のビジネスの**持続的成長**をお約束します

弊社のロゴに込めた思い

弊社が皆様の現場の一人ひとりに実現したい人物像



- G** = お客様に貢献している確信と**プライド**
- E** = 三現主義で真因を追究する**行動力**
- M** = やるべきことを最後までやり切る**決意**
- B** = 三現主義で真因を追究する**行動力**
- A** = 異常を共有して変化を機会とする**リーダーシップ**

笑顔 = 弊社が皆様の現場の一人ひとりに実現したい**生産的スマイル**



実績 国内外で様々な業種でご活用いただいております

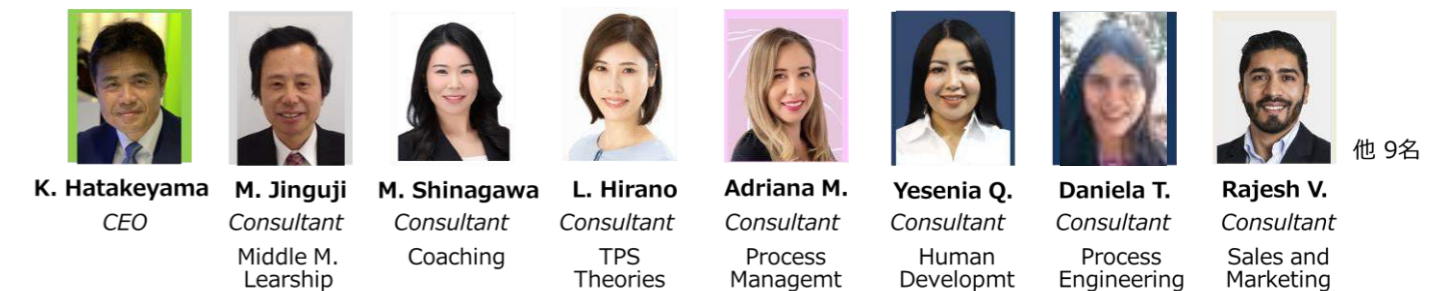


8か国 / 120社以上

組織 今後アフリカなど様々な国での展開を計画しております



スタッフ サービスを通して皆様に笑顔を約束します



他 9名

見える、つながる、自走する

～一人ひとりの仕事をムダなく結果につなげるために～



お問い合わせ

Gemba Smile 株式会社 (ゲンバスマイル)

日本国内及びスペイン語圏担当：

平野 (Hirano)

✉ luna_h@gembasmile.com

日本国内及びグローバル担当：

品川 (Shinagawa)

✉ m_shinagawa@gembasmile.com

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-28-9 東武ビル

☎ 03-6892-4060

🌐 <https://gembasmile.com>

📷 https://www.instagram.com/gemba_smile_group/



A

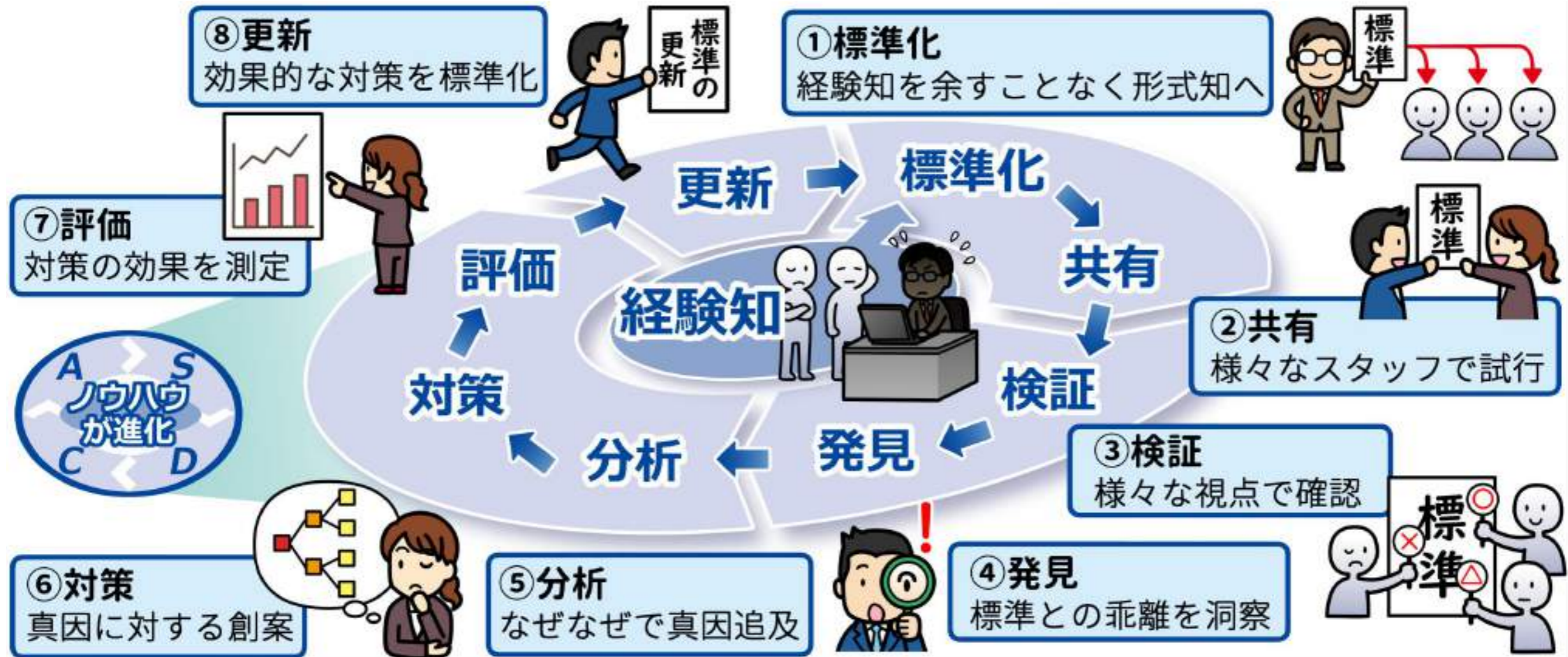
更新

仕事を改善

標準化

属人化をなくす

S



C

見直し

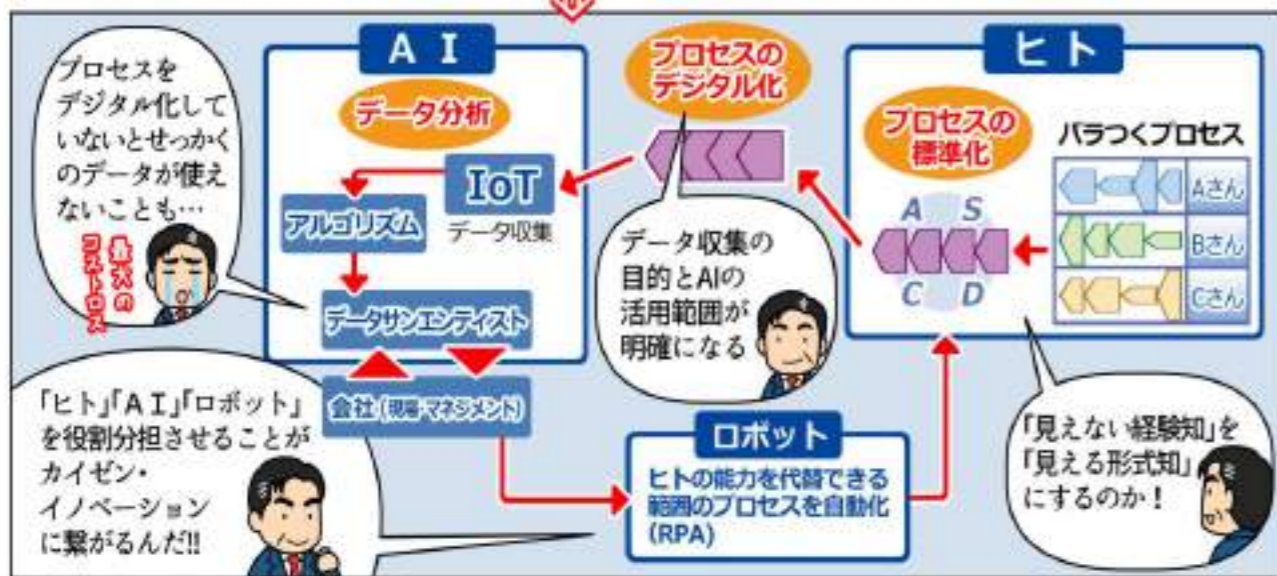
真因を追究

実行

やってみる

D

付録：デジタル化に失敗しないために（漫画版）



AIに使われるのではなく、
AIを使いこなす仕事をしたい。

そのためにはAIでは代替できない
“ヒトの能力”を伸ばすことです。

SDCA を使ったメソッドで、
ヒトがリードする未来へ。